

暦の上では秋となりましたが、校舎を一步踏み出せば、蝉の大合唱が熱風に乗って聞こえてきます。また、学校の前に広がる麻機遊水地には蓮の花も咲きほこり、目や耳で夏の自然の勢いを感じます。

さて防災課ではこの1学期、地震防災に重点的に取り組んできました。5、6月には地震発生を想定した予告なしのミニ訓練を行い、安全確保行動や安否確認について確認することを行いました。ミニ訓練の振り返りを活かし、先月7月1日は総合防災訓練を実施しました。総合防災訓練では1日をおして、防災学習、地震避難訓練、非常食体験、引渡し訓練を行うことで、災害時の様々な場面を想定した行動を児童生徒、教員が考える機会となりました。活動の様子を紹介します。

防災学習



中部地域局危機管理課より講師を招き、地震に関するクイズを交えた講話をいただきました。講話の後は、地震が来た時の校内の危険箇所「危険カモ」を探す危険予測の学習を行いました。「落ちてくるもの、倒れるもの、動くもの」が地震の時に危険であるという話を聞き、児童生徒は、校内の「危険カモ」を考えながら探すことができました。見つけた危険に対しては、転倒や落下の防止対策を施すことや、地震が来たら近づかないことが大切だと教えていただきました。

地震避難訓練

6月に予告なしで行ったミニ訓練を経て、安否確認や避難方法などを再確認することができました。総合防災訓練の前後にミニ訓練を行うことで、児童生徒、職員が継続して防災について考える機会となり、年度初めに比べ、一人ひとり取るべき行動がより明確になったと感じます。



非常食体験



総合防災訓練の日は給食ではなく、非常食を食べました。アルファ米を自分で準備する経験や、初めてパンの缶詰を食べる経験などを、興味深く活動する様子も見られました。実際に作って食べてみて、避難生活での食事として自分にとって適しているかを確認しました。

引き渡し訓練

保護者の方の協力を得て、南海トラフ地震注意情報が発表されたことを想定し、引き渡し訓練を行いました。今回は南海トラフ地震を想定した訓練でしたが、児童生徒の引き渡しの可能性は地震のときだけではなく、もしものときに備え、引き渡しの手順や経路を保護者の方と教員で確認をすることができました。



引き渡し誘導係の先生方は炎天下の中、ありがとうございました！

本校では自力で避難することが難しい児童生徒が大勢います。今回の訓練により教員一人ひとりの防災意識がさらに高まりました。今後も児童生徒の命を守ることができる学校を目指して取り組んでいきます。

今後の訓練、研修の予定

8月	(職員) 夏季防災研修
8、9月	(保護者、職員) 災害用伝言ダイヤル訓練
9月	(職員) 防犯研修
	(児童生徒、職員) 防犯訓練
11月	(児童生徒、職員) 火災避難訓練

予告なしのミニ訓練も随時行います。

